

令和4年度山陽小野田市文化会館運営委員会 次第

令和4年12月12日(月) 14:00～
不二輸送機ホール 研修室

1 会長あいさつ

2 報告

(1) 令和4年度文化会館主催事業について **資料1**

(2) 文化会館開催の市共催事業について

資料2 (令和3年度)、**資料3** (令和4年度)

(3) 利用実績について

資料4 (令和3年度)、**資料5** (令和4年度4月から11月まで)

(4) 令和4年度文化会館維持管理について **資料6**

(5) 令和3年度書面会議の意見について **資料7**

3 議題

文化会館のあり方について **資料8**

(1) 文化会館のソフト事業について

(2) 文化拠点としての機能強化について

別添資料 山陽小野田市文化芸術振興ビジョン

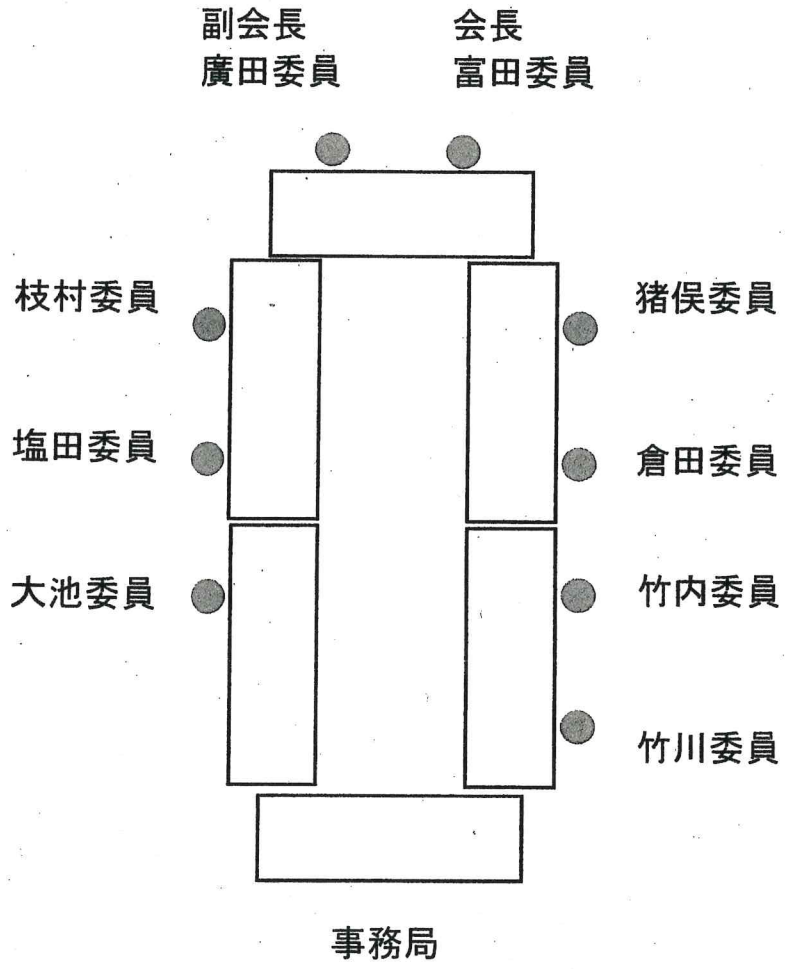
4 その他

山陽小野田市文化会館運営委員会委員名簿

	区 分	選出団体	氏 名
会長	学識経験者	元宇部フロンティア大学 短期大学部講師	富 田 輝 美
副会長	芸術及び文化団体の代表者	全国生涯学習音楽指導員 協議会山口支部	廣 田 由 実
	芸術及び文化団体の代表者	山陽小野田少年少女合唱団	猪 俣 薫
	芸術及び文化団体の代表者	アーティスト BOX	倉 田 義 和
	芸術及び文化団体の代表者	山陽小野田市文化協会	竹 内 道 子
	芸術及び文化団体の代表者	山陽小野田市 文化会館実行委員会	竹 川 洋 造
	公募市民		枝 村 厚
	公募市民		塩 田 賢 二
	関係行政機関の職員	山陽小野田市小中学校 校長会	大 池 浩 三

任期：令和2年12月18日から令和4年12月17日まで

配席表



令和4年度文化会館主催事業について

資料1

事業名	開催日	場所	備考
NHK公開番組「真打ち競演」 【NHK山口放送局と両主催】	5月27日(金)	不二輸送機ホール 大ホール	入場者363人
山響サマーコンサート -山口県交響楽団演奏会-	6月26日(日)	不二輸送機ホール 大ホール	入場者361人
第26回山陽小野田市ピアノマラソン大会	8月19日(金)～21日(日)	不二輸送機ホール 大ホール	入場者1,130人 (参加者287組302人を含む)
第17回山陽小野田市民文化祭(10部門) 【文化協会と両主催】	9月5日(日)～11月14日(日)		
①市民音楽祭	10月2日(日)	不二輸送機ホール 大ホール	出演者135人 入場者77人
②邦楽大会	10月16日(日)	不二輸送機ホール 大ホール	出演者60人 入場者11人
③日本舞踊祭	10月23日(日)	市民館	出演者63人 入場者154人
④展覧会	10月28日(金)～30日(日)	不二輸送機ホール 研修室・ロビー	出品者120人 入場者402人
⑤華道展	11月5日(土)～11月6日(日)	市民館	出瓶者50人 入場者230人
⑥洋舞演劇祭	11月6日(日)	市民館	出演者142人 入場者230人
⑦俳句大会	11月6日(日)	厚狭地域交流センター	一般160句(1人3句) 小学生710句(1人1句)
⑧短歌大会	11月13日(日)	市民館	一般28首(1人1首) 小学生740首(1人1首)
※市民茶会			中止
第16回山陽小野田少年少女合唱祭	12月18日(日)	不二輸送機ホール 大ホール	
第17回山陽小野田市児童生徒書道展 【文化協会と両主催】	令和5年 1月26日(木)～2月1日(水)	おのだサンパーク	
アーティストBOX 第10回アートのたまてばこ	令和5年 3月2日(木)～5日(日)	不二輸送機ホール 小ホール	
文芸さんようおのだ第17号発行 【文化協会と両主催】	令和5年 3月中旬発行		

令和3年度市共催事業について(会場:不二輸送機ホール)

資料2

事業名	開催日	会場	利用者数
0歳からのファミリーコンサート 休日昼下がりのティータイムコンサート 【全国生涯学習音楽指導員協議会山口支部主催】	5月29日(土) 9月19日(日) 11月14日(日)	5月・9月 小ホール 11月 大ホール	5月・9月 中止 11月 120人
元気やまぐち創造プロジェクト ヴィヴァルディ「四季」 ～国内オーケストラトッププレイヤーによる音楽の祭典～ 【シンフォニア岩国 指定管理者 サントリーパブリシティサービスグループ主催】	10月9日(土)	大ホール	200人
スポーツフェスタ2021in山陽小野田 翔 【総合型地域スポーツクラブ 厚狭地域連絡協議会主催】	10月30日(土)	大ホール	390人
山口県総合芸術文化祭2021 第45回全日本アンサンブルコンテスト山口県大会 【山口県吹奏楽連盟主催】	12月25日(土)～27日(月)	大ホール	1,670人
第45回tys山口県学生ピアノコンクール 【テレビ山口株式会社主催】	予選:1月15日(土)・13日(日) 本選:1月23日(日)	大ホール	中止
澤クワルテットバレンタインコンサート 【山陽小野田市文化協会主催】	2月23日(水・祝)	大ホール	中止
アラ還フェスティバル 【アラ還フェスティバル実行委員会主催】	3月5日(土)	大ホール	中止
山口県総合芸術文化祭2021 第16回山口県ハーモニカ演奏交流会 【山口県ハーモニカクラブ主催】	3月20日(日)	大ホール	150人

令和4年度市共催事業について(会場:不二輸送機ホール)

資料3

事業名	開催日	会場	利用者数
澤クワルテットコンサート 【山陽小野田市文化協会主催】	7月10日(日)	大ホール	440人
山陽小野田市オペラがやってくる! ～キルスティン・シャベスによる「カルメン」インサイド アウト(語りと演奏)～ 【山陽小野田市文化協会主催】	7月16日(土)	大ホール	311人
山口県総合芸術文化祭2022 山口県洋舞フェスティバル 【山口県洋舞連盟主催】	8月7日(日)	大ホール	600人
0歳からのファミリーコンサート 休日昼下がりのティータイムコンサート 【全国生涯学習音楽指導員協議会山口支部主催】	9月3日(土)→23日(金・祝)へ延 期	小ホール	45人
山口県総合芸術文化祭2022 第46回全日本アンサンブルコンテスト山口県大会 【山口県吹奏楽連盟主催】	12月25日(土)～27日(月)	大ホール	—
第45回tys山口県学生ピアノコンクール 【テレビ山口株式会社主催】	予選:1月21日(土)・22日(日) 本選:1月29日(日)	大ホール	—
山口県総合芸術文化祭2022 第17回山口県ハーモニカ演奏交流会 【山口県ハーモニカクラブ主催】	3月19日(日)	大ホール	—

令和3年度 文化会館利用実績

資料4

利用件数

(単位:件)

月	大ホール	小ホール	研修室	和 室	スタジオ	楽屋1	合 計
4月	3	4	9	2	2	4	24
5月	6	6	9	2	2	6	31
6月	2	8	8	2	3	3	26
7月	12	14	12	4	0	9	51
8月	11	16	12	2	1	4	46
9月	0	1	2	1	0	1	5
10月	13	25	11	9	2	5	65
11月	12	28	14	11	6	4	75
12月	18	25	17	13	11	16	100
1月	6	19	15	5	4	7	56
2月	3	10	7	6	2	3	31
3月	7	9	8	8	2	7	41
合計	93	165	124	65	35	69	551

利用人数

(単位:人)

月	大ホール	小ホール	研修室	和 室	スタジオ	楽屋1	合 計
4月	141	42	68	19	1	24	295
5月	459	112	103	0	0	9	683
6月	350	168	31	0	1	7	557
7月	2,958	234	61	20	0	8	3,281
8月	1,116	326	74	8	1	14	1,539
9月	0	17	39	2	0	6	64
10月	1,914	471	99	25	3	3	2,515
11月	1,515	494	58	40	10	0	2,117
12月	3,277	228	59	29	6	9	3,608
1月	1,065	169	125	14	2	10	1,385
2月	364	477	44	32	3	0	920
3月	600	865	49	41	1	8	1,564
合計	13,759	3,603	810	230	28	98	18,528

利用率

①開館日数(335日)

	大ホール	小ホール	研修室	和 室	スタジオ	楽屋1	合 計
利用件数	93	165	124	65	35	69	551
利用日数	88	156	120	65	35	67	531
利用率	26.3%	46.6%	35.8%	19.4%	10.4%	20.0%	

②貸館可能日数(304日) ※8月27日～9月26日 貸館休止

	大ホール	小ホール	研修室	和 室	スタジオ	楽屋1	合 計
利用件数	93	165	124	65	35	69	551
利用日数	88	156	120	65	35	67	531
利用率	28.9%	51.3%	39.5%	21.4%	11.5%	22.0%	

(参考)

	大ホール	小ホール	研修室	和 室	スタジオ	楽屋1	備考
R1年度 利用率①	44.0%	56.8%	72.9%	41.1%	31.3%	64.9%	開館日数 336日
R1年度 利用率②	48.1%	62.0%	79.5%	44.8%	34.1%	70.8%	貸館可能日数 308日
R2年度 利用率①	13.1%	33.1%	32.2%	13.4%	6.6%	15.2%	開館日数 335日
R2年度 利用率②	17.1%	43.2%	42.0%	17.5%	8.6%	19.8%	貸館可能日数 225日

利用実績の推移

	利用件数(件)	利用人数(人)	会館使用料(円)
平成24年度	1,265	56,059	7,470,610
平成25年度	1,188	52,021	8,466,480
平成26年度	1,337	54,571	7,579,678
平成27年度	1,215	55,439	7,680,942
平成28年度	1,040	47,591	8,118,480
平成29年度	1,042	45,401	7,388,626
平成30年度	1,267	54,642	8,119,874
令和元年度	1,169	45,140	7,470,846
令和2年度	407	8,799	2,041,640
令和3年度	551	18,528	6,485,128

令和4年度 文化会館利用実績（4月から11月まで）

資料5

利用件数

（単位：件）

月	大ホール	小ホール	研修室	和 室	スタジオ	楽屋1	合 計
4月	9	3	11	6	10	6	45
5月	9	10	11	9	10	10	59
6月	5	10	11	6	4	8	44
7月	16	15	15	3	6	22	77
8月	15	16	14	7	12	18	82
9月	5	13	9	4	4	14	49
10月	8	2	20	9	3	2	44
11月	9	0	21	8	1	0	39
12月							
1月							
2月							
3月							
合計	76	69	112	52	50	80	439

利用人数

（単位：人）

月	大ホール	小ホール	研修室	和 室	スタジオ	楽屋1	合 計
4月	1,015	4,853	53	30	10	13	5,974
5月	1,019	255	51	20	6	14	1,365
6月	654	224	55	6	4	37	980
7月	2,274	135	124	7	4	45	2,589
8月	2,376	217	13	6	5	20	2,637
9月	355	103	108	25	6	29	626
10月	1,550	0	711	73	0	0	2,334
11月	2,844	0	119	43	0	0	3,006
12月							
1月							
2月							
3月							
合計	12,087	5,787	1,234	210	35	158	19,511

利用件数	76	69	112	52	50	80	439
利用日数	79	64	115	52	46	74	430
利用率	34.6%	28.1%	50.4%	22.8%	20.2%	32.5%	

（開館日数228日）

令和4年度文化会館維持管理について

	内容	金額(千円)	備考
R4	冷却塔配管修理	15	5月実施済
	冷却塔ドレーンバルブ取替工事	74	6月実施済
	寝太郎広場デッキ補修工事	99	9月実施済
	大ホール手摺修繕	137	10月実施済
	舞台吊物設備マニラロープ取り替え修繕	1,210	R5年1月実施予定 (今年度完了)
	中央監視端末伝送装置更新工事	3,200	11月～実施中
	屋上防水改修工事	22,000	9月～12月実施中

その他

	内容	金額(千円)	備考
R4	老朽化調査及び中長期整備計画策定業務	34,100	9月～令和5年3月実施中

令和 3 年度書面会議の意見について

○主催事業について

- ・新型コロナウイルスの感染状況が少し落ち着いている時は開催できるが、まだまだ難しいと思う。
- ・恒例の主催事業のみで淋しい。新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたら、是非新事業に取り組んでほしい。
- ・すべての事業が開催できず残念。
- ・山響サマーコンサート、少年少女合唱祭、児童生徒書道展、市民文化祭を鑑賞した。生の芸術・文化は本当に素晴らしい。
- ・市民文化祭の音楽祭・展覧会を鑑賞したが、趣向を凝らした演奏会や展示、運営は毎年素晴らしいと思う。展覧会で「心に残った一作品」を来場者が投票して選ぶという試みは、大変興味深く、1 位に選ばれた作品については、令和 4 年度「コーラスフェスティバル」のポスター&チラシの原画に起用した。
- ・市内で素晴らしい活動をしている団体がたくさんある中で、縦横のつながりはほとんど感じられないが、こうした関係を築いていくことで、より文化・芸術に広がりが見られるのではないかと思う。
- ・ピアノマラソン大会が二年間中止になり、とても残念だ。

○市共催事業について

- ・新型コロナウイルスの感染状況によるが、来年度は今までどおりファミリーコンサート、ティータムコンサートを開催したい。
- ・6 事業の計画のうち、澤クワルテットの演奏会中止は残念だったが、新型コロナウイルス感染拡大の最中では致し方なかった。
- ・市との共催で新しい企画が実施されていくことを期待している。
- ・「元気やまぐち創造プロジェクト」演奏会は、国内のトッププレイヤーによるコンサートで、内容が濃く質の高い演奏会であったのにもかかわらず 200 人の集客に終わり関係者の一人として反省している。準備期間も短く宣伝不足だった。その後開催した他市の会場へ行ったが同じような状態だった。多くの経費がかかって行われた事業なので、本当に残念だった。
- ・「スポーツフェスタ 2021in 山陽小野田」の企画については、普段のコンサートとは違った客層だったのが印象的だった。

○利用実績について

- ・コロナ禍で難しいとは思いますが、利用率向上に向けて取り組みを進めてほしい。
- ・コロナ禍での利用者数は仕方がないと思う。
- ・利用率の計算に開館日数 335 日を母数としているが、当該年度は貸館休止期間があるので、この間を差し引いた日数を母数としたほうが実際の利用率が明確になると考える。利用率の数値を、単に眺めて前年より上がった・下がったというのではなく、どのように読み解いて今後の会館運営にどのように生かすかを考えるべきである。そのためにはどのようなデータを導いてくるのが最適なのかを検討してデータ化する必要がある。
- ・新型コロナウイルス感染拡大による閉館もあり比較はできないが、新幹線前という立地条件を存分に生かし、開かれた会館・気軽に利用できる会館として利用されることを大いに期待している。
- ・スタジオの利用については、軽音楽を楽しむバンド団体が多くある。若者（大学生以下くらい）の利用については、金額を下げてもうかがう。防音設備など良い環境なので、大音量の音楽を楽しむ若者が増えることにつながらないか。

○維持管理について

- ・修繕ばかりで大変だと思う。
- ・防水工事も大掛かりで難しいと思うが、早急をお願いしたい。
- ・今後は、ハイブリットイベントや講演会、オンライン会議等、多くの需要があると思うので、インターネット回線の導入が不可欠になる。大ホール、小ホール、研修室等で利用できると思う。
- ・諸活動の活性化のためには Wi-Fi は必須だと思う。是非整備をお願いしたい。
- ・来年度以降、会館が大改修に入ると聞いた。大いに期待している。
- ・大ホールマニラロープ更新について R2 年度に 1 / 3 を更新して、R3 年度に 2 / 3 を更新した表現になっている。実際は各年度 1 / 3 ずつ更新しているようであるので、R2 年度も 1 / 3 と表現すべきである。このほうが、あと 1 / 3 が未着手であることが明確になる。

○その他

- ・資料 1・2 について 中止は太字 o r ポイントを大きくしたらどうか。資料 3 は表だけでなく補足説明があるとわかりやすい。
- ・令和に入って感染力が強い新型コロナウイルスによる社会への生活環境で文化活動も影響を与えてきた 3 年間。我々の行動に対する取り巻き状況は厳しかった。安易な気持ちでは対処できない情態に置かれ、文化会館を利用するにあたり、大変な努力と耐え抜く現実があった。関係者の皆様により克服してきたと思う。事業報告、利用実績、維持に関係する修繕費用も妥当だと思う。今回の運営状況の判断や処置は正当と認められる。
- ・令和 4 年度の事業計画等が示されていないが、当該運営委員会では、本来、過去の実績を踏まえて次年度の事業計画を検討すべきと考える。各分野の知見である代表者が委員となっているのであるから、学識経験者や専門家からの意見を拝聴して次年度の事業計画に反映させるべきである。本委員会の担任する事務として、市執行機関の附属機関に関する条例によると、“文化会館の事業の円滑な運営に必要な事項を審議すること”となっているが、今回の資料ではこの点が審議できない。ご検討をお願いしたい。

令和3年度書面会議の意見について（回答）

○利用実績について

意見	回答
<p>利用率の計算に開館日数335日を母数としているが、当該年度は貸館休止期間があるので、この間を差し引いた日数を母数としたほうが実際の利用率が明確になると考える。利用率の数値を、単に眺めて前年より上がった・下がったというのではなく、どのように読み解いて今後の会館運営にどのように生かすかを考えるべきである。そのためにはどのようなデータを導いてくるのが最適なのかを検討してデータ化する必要がある。</p>	<p>利用率の算出については、令和4年度分から貸館休止期間を除いた日数で計算するように改めました。</p>
<p>スタジオの利用については、軽音楽を楽しむバンド団体が多くある。若者（大学生以下くらい）の利用については、金額を下げてみてはどうか。防音設備など良い環境なので、大音量の音楽を楽しむ若者が増えることにならないか。</p>	<p>スタジオの利用につきましては、午前、午後、夜間の利用から、1時間単位の貸館に変更し、金額的にも利用しやすいように工夫しております。（午前410円、午後730円、夜間940円→1時間170円）スタジオの貸館状況については、市ホームページに掲載しておりますが、引き続き利用しやすい環境づくりに努めてまいります。</p>

○維持管理について

意見	回答
<p>諸活動の活性化のためにはWi-Fiは必須だと思う。是非整備をお願いしたい。</p>	<p>Wi-Fiの整備については、今後検討してまいります。</p>

○その他

意見	回答
<p>令和4年度の事業計画等が示されていないが、当該運営委員会では、本来、過去の実績を踏まえて次年度の事業計画を検討すべきと考える。各分野の知見である代表者が委員となっているのであるから、学識経験者や専門家からの意見を拝聴して次年度の事業計画に反映させるべきである。本委員会の担任する事務として、市執行機関の附属機関に関する条例によると、“文化会館の事業の円滑な運営に必要な事項を審議すること”と令和4年度の事業計画等が示されていないが、当該運営委員会では、本来、過去の実績を踏まえて次年度の事業計画を検討すべきと考える。各分野の知見である代表者が委員となっているのであるから、学識経験者や専門家からの意見を拝聴して次年度の事業計画に反映させるべきである。本委員会の担任する事務として、市執行機関の附属機関に関する条例によると、“文化会館の事業の円滑な運営に必要な事項を審議すること”となっているが、今回の資料ではこの点が審議できない。ご検討をお願いしたい。</p>	<p>当運営委員会の事務につきましては、市附属機関の目的のとおり委員の皆様から御意見をいただき、館の運営に反映できるようにいたします。</p>

山陽小野田市公共施設 個別施設計画

令和 2 年 9 月

山陽小野田市

1 施設の概要

施設分類 / 文化施設

施設名	文化会館			運営形態	直営		校区	厚狹
棟名	建築年月	構造	法定耐用年数	残存耐用年数	延床面積(m)	階数	耐震化	
本棟	H6.3	SRC(鉄骨鉄筋コンクリート)	47	21	4,837	5	耐震診断不要	

2 施設評価

●建物の健全度

部位	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	判定
評価	D 早急に対応する必要がある	D 早急に対応する必要がある	B 経過年数 20~40年	D 経過年数に関わらず著しい劣化事象がある	B 経過年数 20~40年	42

●公共性（設置当初に期待された役割を、現在でも果たしているか）

			判定
法定施設			公共性あり
必要性	○	市民が社会生活を営む上で必要な生活環境水準確保のための施設	
公益性	○	市民福祉の増進を目的とし、対象者を特定せず、すべての市民が利用できる施設	

●有効性（施設は有効に機能しているか）

			判定
利用度	○	会議室やホール等を貸し出す施設において、稼働率が高い施設	有効性あり
互換性	小さい	互換性の小さい施設（次のすべてに該当する施設） ・他に同種の（同機能を持つ）公の施設が存在しない施設 ・官民を問わず、他にサービスが類似する施設が存在しない施設 ・当該施設によるサービスの他に、代替となる手法が存在しない施設	

3 今後の施設の方向性

施設の方向性	大規模修繕
施設の方向性の考え方	市の文化的活動の交流拠点となる施設であり、利用者の安心、安全を最優先し、防水対策、吊り天井の改修及びそれと並行して照明、デジタル化など大規模修繕を検討する必要がある。そのため、まずは館全体の修繕箇所や設備更新に関する調査を専門業者へ委託する。

4 施設に係る利用状況

【利用状況】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位
利用者等数	47,591	45,401	54,642	利用者数(人)
利用度	44	48	56	稼働率(%)

5 実施計画

R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11~R17
大規模修繕 (長寿命化計画作成)								
25,410千円								

○山陽小野田市文化会館運営委員会規則

平成26年4月1日

規則第32号

(趣旨)

第1条 この規則は、山陽小野田市執行機関の附属機関に関する条例（平成17年山陽小野田市条例第30号）第3条の規定に基づき、山陽小野田市文化会館運営委員会（以下「委員会」という。）の組織、運営その他必要な事項について定めるものとする。

(委員)

第2条 委員会の委員は、9人以内とし、次に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 芸術及び文化団体の代表者
- (2) 市民
- (3) 関係行政機関の職員
- (4) 学識経験者

2 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

3 委員に欠員を生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第3条 委員会に、会長及び副会長を各1人置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、市長の請求に基づき、会長が招集する。

2 会議の議長は、会長をもって充てる。

3 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

4 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第5条 会長は、会議の運営上必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、その説明又は意見を聴くことができる。

(結果の報告)

第6条 会長は、会議が終了したときは、その結果を市長に報告しなければならない。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、文化会館において処理する。

(雑則)

第8条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、会長が委員会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の日の前日において、山陽小野田市文化会館運営委員会規則を廃止する規則（平成26年山陽小野田市教育委員会規則第14号）による廃止前の山陽小野田市文化会館運営規則（平成17年山陽小野田市教育委員会規則第37号。以下「旧規則」という。）で定めるところにより委嘱又は任命されている委員は、この規則の施行の日において第2条第1項の規定により委嘱又は任命された委員とみなし、その任期は同条第2項の規定にかかわらず、旧規則の規定による残任期間とする。